



## ～牛の歩みも千里～ 目標に向かって進みましょう！

3学期が始まり、早3週間余りが過ぎました。新型コロナウイルス感染症は、11都府県に非常事態宣言が出されるなど、全国的にはまだまだ心配な状況が続いていますが、高知県での感染状況は落ち着いてきており、少し胸をなでおろしています。しかし、高知中央高等学校や高知南高等学校でのクラスターの発生等、学校での感染リスクについて再認識するとともに、できるだけ感染リスクを下げるよう引き続き感染予防対策に取り組んでいきます。

今年は丑年ですが、丑年は「これから発展する前触れ、芽が出る」年で、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。このコロナ禍との関係を、つい考えてしまうのは私一人ではないと思います。このような状況だからこそ、できることをしっかりと積み上げていく大切さと必要があると感じています。始業式にも「牛の歩みも千里」という言葉を紹介し、「目標に向かって地道に努力しましょう！」という話をしました。3学期は、進級、進学、卒業に向けて一年のまとめをする大切な時期です。一日一日を大切に、4月からの新しいスタートがスムーズにできるよう取り組んでいきます。高等部3年生は、学校生活もあと少しです。充実した毎日となりますように！



学校も今年度の反省をいかし、幼児児童生徒の学校生活がより充実したものとなるよう、学校教育活動の振り返り行う時期です。保護者の皆様に提出いただいています学校評価アンケートにつきましてもしっかりと読ませていただき、来年度の学校教育活動に反映するよう努めていきます。

## 学校でのコロナ対策について

冬季の学校でのコロナ対策についてお知らせします。

教室ではエアコンを使用しながら、常時、対角線上の2方向の窓を少し開け、外側の窓の側にサーキュレーターを設置・作動させ、換気を促進しています。常時窓を開けることが難しい場合は一定時間ごとに、窓を全開にしたり、換気扇等を使用したりして対応しています。室温については、各教室に設置している室温計で確認し、エアコンの温度調整を行っています。

また、全ての教室に加湿器を設置し、乾燥を防ぐように配慮もしています。あわせて空機清浄機を普通教室に設置していますが、2月中には特別教室にも設置できる予定です。

蛇口からの感染の可能性も報道されましたので、歯みがき後の蛇口のアルコール消毒や、手洗い後の水での蛇口洗浄も行うようにしました。



## 学校運営協議会について

高知県教育委員会では、地域の実態や学校の特色を踏まえ、開かれた学校からさらに一步踏み出すために、県立学校に「学校運営協議会」を設置し、地域とともにある学校への転換を一層推進できるよう取組を進めていくこととしています。本校においても、「開かれた学校づくり推進委員会」を設置し取組を進めてきましたが、今年度より「学校運営協議会」を設置することとしました。

委員は10名で、地域住民、保護者代表（PTA役員さん）、学校の運営に資する活動を行う者として「オーテピア高知声と点字の図書館」の館長さんや、学識経験者として本校元校長である伊藤正孝先生にもお引受けいただいています。年2回開催する予定の会ですが、コロナの関係で今年度は2月に開催を予定しています。保護者の皆様にも、会の内容等を随時、お伝えしていくようにしますのでよろしくお願い致します。

## 寄宿舎の改修が終わりました！

寄宿舎の改修も無事に終了し、3学期より元の盲学校の寄宿舎での生活が始まりました。エレベーターの新設やトイレなど新しくなったところと、以前からのままの場所と、新旧が交じり合った空間になっています。改修後の寄宿舎での生活に慣れるまでには、まだ少し時間がかかりそうです。寄宿舎での集団生活では、コロナ対応に特に気を使う必要があり、三密を避ける様々な配慮や工夫をしながらの生活になっています。